

# 令和2年度 横浜市立六つ川小学校 出前授業 実施報告

## はじめに

- 公共交通などを適度に利用する生活への転換を促す「モビリティマネジメント」の一環として、様々な移動手段を目的や状況に応じてかしく使い分ける視点を学ぶ授業を六つ川小学校で実施しました。
- 学校では、総合学習の時間に「地域交通」や「環境」などの視点から、自分たちの住んでいるまちについて考える授業を行っています。今回の出前授業では、基礎知識として、クルマやバスの現状や、移動を選択する上で考えてほしいことなどについて伝えました。
- 学校の周辺は坂が多く、駅から離れた立地のため、マイカー利用が多くなっています。授業を通して、バスを身近に感じてもらい、利用につなげてもらうことがねらいです。

【日時】 令和2年8月25日（火） 3校時

【対象】 横浜市立六つ川小学校  
4年生 1・2組（66名）

【内容】 ①事前学習振り返り  
②座学  
「人や地球に優しい「移動」を考える」  
③個人ワーク



### 学校へのアクセス

京浜急行線 弘明寺駅から神奈中バスに乗り  
「大池」バス停へ。下車5分

## 1 出前講座の全体概要

- 授業の内容・資料は、できるだけ学校の意向に沿ったものとするため、事前に先生や南区役所の担当者と調整を行いながら決定しました。
- 子どもたちには、事前に「だれと」「どこに」「どんな移動手段で」お休みの日にお出かけしたのかをまとめてもらいました。
- 当日の授業は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、体育館で十分な換気を行い、間隔をあけて座ってもらい実施しました。また、通常はグループワーキングを行いますが、今回は個人ワーキングとしています。

■ 体育館での授業の様子



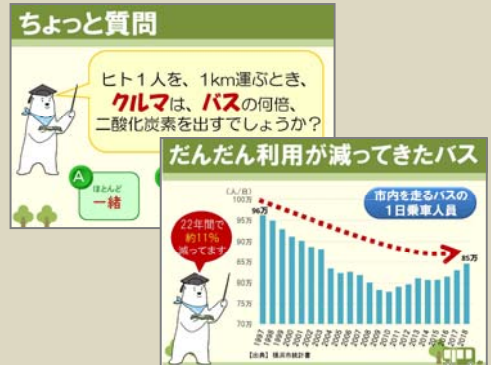
## 2 授業の内容

- 授業の冒頭で、子どもたちに事前にまとめたお出かけの内容を発表してもらいました。「友達と車でキャンプに」「家族と自転車で上大岡駅まで」など、様々な移動手段を使い、お出かけしたようでした。
- 座学では、『人にも地球にもやさしい「かしこい移動」を考える』と題して、クルマがもたらす環境への影響や、バスの利用が減っている現状などを説明しました。
- 子どもたちは、普段クルマを利用することが多いようですが、クラスの半数以上は、塾や習い事に行くときなど、日常的にバスも利用しているようでした。
- 後半の個人ワーキングでは、こちらが用意した条件に応じた適切な移動手段を考えてもらいました。
- 移動手段を選ぶときは「環境」「お金」「便利さ」など様々な視点から見ることが大切であり、「行き先や状況に応じて、かしこい移動を考える」ことが大切であることを伝え、授業を終えました。

## おわりに

- 授業を終えた子どもたちからは、「バスの利用者が減っていることを初めて知ったので、もっとバスも使ってみようと思う」や「これまで塾に行くときはクルマだったけど、それ以外を使うよう家族を説得する」などの声が聞かれ、クルマ以外の選択肢としてバスも利用しようと思ったようでした。
- 成長していく過程の中で「便利なクルマに頼りすぎず、今と同じように、バスで行ける所はバスで行くこと」を日頃から心掛け、家族や友人などと少しずつ実践してほしいと思います。

### ■ 座学に用いたパワーポイント(一部)



### ■ 個人ワークの質問

かしこい移動を考えてみよう

(1)～(3)の場合、どんな移動がよいか考えてみましょう

(1) 車いすの人と2人で、みなとみらいの辞書を買いに行くには？

(2) 年配の方と2人で、弘明寺へ文房具を買いに行くには？

(3) 友達と2人で、弘明寺へケーキを買いに行くには？

### ■ 授業の様子



### ■ 生徒さんからの「感謝の手紙」から(一部)

